

Mis días en México

2月後半から気温が高くなり、最高気温28度前後の日が続いているため、半袖で過ごすことが多くなりました。想像していたよりもメキシコの冬はあっという間に終わり、広島のと比べてそれほど寒くなかったため、個人的にはマフラーやカイロを使う機会がなく、持参しなくてもよかったと感じています。

1. ソチミルコ

2月中旬、友人の誕生日を祝うためにソチミルコに行きました。

ソチミルコはメキシコシティの南にある有名な水路で、1987年に世界文化遺産に登録されています。ここでは、観光客や地元の人々が「トラヒネラ」と呼ばれるカラフルな小型船に乗って楽しめます。今回は約3時間のクルーズでした。食べ物や飲み物を持ち込むことができるので、みんなでお菓子を買って乗船しました。

トラヒネラの料金は、乗船する人が多いほど安くなるシステムになっています。今回は20人以上で乗ったため、1人当たり50ペソ以下で楽しむことができました。参加した人の多くがメキシコ人だったため、船の中では、踊ったり歌ったりして、とても盛り上がりました。

船に取り付ける看板はオーダーできるそうで、結婚記念日や誕生日を祝うものなどを多く見かけました。クルーズの途中には、世界7大禁足地の1つと言われている人形島を通りました。

4時間以上船をチャーターすると人形島に上陸するプランも選択できるそうです。

私が乗船した日は、休日だったのでたくさんのトラヒネラが行き交い、水路はとても渋滞していました。しかし、以前から1度は乗ってみたいと思っていたので、今回体験できて良かったです。



2. メキシコシティと旧正月

1月下旬から2月上旬の旧正月の時期になると、メキシコシティではさまざまなイベントが開催されます。私は、中国の獅子舞や龍舞のパレードを観るために、メキシコシティの中心部へ行きました。開門前に到着したにもかかわらず、すでに数百人規模の行列ができており、その注目度の高さがうかがえました。その他にも、パレードにはメキシコで中国の武術を習っている子どもたちも参加していました。

その後、歩いて20分ほどのところにある中華街へ行きました。中華街には、レストランや食べ歩きができる店が多く並んでいました。その中で特に目を引いたのは、カラフルな蒸しパン『Pan Chino』という食べ物です。さまざまな店で販売されていました。パンの中には Dulce de leche (ラテンアメリカの伝統的な糖菓) などが入っているそうです。今回は試みませんでしたが、次回は挑戦してみたいと思います。

メキシコで中国の文化を体感でき、とても印象深かったです。



3. CEPE 生活

私は 1 月中旬から 2 月末までの学期(Invierno)で、Nivel 5 のクラスを受講していました。Nivel 0 から 4 までは、スペイン語の授業が毎日 3 時間ありますが、Nivel 5 からは週 2 回、授業が 2 時間の日があります。

午前の授業を選択すると、週 2 回は 11 時に終わるため、午後の時間を文化の授業の受講、授業の復習、資格試験対策に充てることができます。就職を控えている学生の多くは、図書館や自宅で SPI の勉強やオンライン面接の準備をしています。すでに Nivel 6 を修了し、受講義務を終えた日墨生のほとんどは、日系企業でインターンをしています。

私も順調に進めば5月の初めに Nivel 6 を修了する予定ですが、現時点では Nivel 7 まで受講したいと考えているので、引き続き頑張りたいです。

CEPE には2つの入り口がありますが、UNAM の図書館がある側の門の近くには、いくつかのお店があります。その中でも、特におすすめなのがフルーツ屋さんです。フルーツが豊富な国として有名なメキシコでは、新鮮なフルーツをととても安く食べることができます。中でも、私が毎日の朝ご飯として食べているのが、500ml の容器に山盛りのフルーツが入っているフルーツカップです。時期にもよりますが、約12種類のフルーツから好きなフルーツを何種類でも選ぶことができます。30 ペソで販売されており、CEPE の学生にもメキシコ人にもとても人気なお店です。ほかにもフルーツや野菜100%のジュースも販売されています。



左のメニュー表に書かれているフルーツの中から好きなものを選ぶことができます。

おわりに

10 日間ほどの休暇もおわり、Nivel 6 の授業が始まりました。私のクラスは、なんと私を含めて5人全員が日墨生です。お互いの語学力を向上させるため、授業内外でなるべくスペイン語を使うよう心がけたいです